



2020年2月14日

各位

会社名 株式会社あかつき本社
代表者名 代表取締役社長 島根 秀明
(コード 8737 東証第2部)
問合せ先 執行役員社長室長 北野 道弘
(TEL 03-6821-0606)

2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、会社法第370条に基づく取締役会の決議に替わる書面決議により、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月15日に開示した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正することを決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期連結業績予想の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	連結営業収益	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	36,000	2,200	1,700	1,200
今回修正予想(B)	33,000	1,800	1,300	1,500
増減額(B-A)	△3,000	△400	△400	300
増減率(%)	△8.3	△18.2	△23.5	25.0
前期連結実績 (2019年3月期)	35,737	1,806	1,355	1,031

2. 修正の理由

証券関連事業においては、あかつき証券の法人部門・IFA(金融商品仲介業者)からの収益が増加するなど、当初の見込み通り、好調に推移しています。

不動産関連事業においては、マイプレイス(2020年1月にトータルエステートから社名変更)の中古マンション販売は前期並みではありますが、当初目標値を下回っています。

一方で、EWアセットマネジメントが運営するヘルスケアファンドにおいては、保有する高齢者施設3物件の売却を行い、この売却による利益を2020年3月期第4四半期連結会計期間に計上予定です。但し、当初営業収益に計上予定だった高齢者施設の売却のうち一部施設に関しては、営業収益ではなく特別利益として880百万円を計上する見込みとなりました。また売却物件数については、当初2物件の見込みが3物件に増加しました。

これらの結果、連結営業収益は3,000百万円、連結営業利益及び連結経常利益はそれぞれ400百万円の減少となったものの、親会社株主に帰属する当期純利益は300百万円増加する見込みとなりました。

以上

※上記の連結業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在の仮定を前提としています。実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。